

建交労大阪府本部 機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

3・2大手ゼネコン要請行動

2022年3月2日・

3日に全国セメント生コン部会は、建設産別対策委員会とともにゼネコン∞社(鹿島建設、大成建設、清水建設、戸田建設、竹中工務店、大林組、前田建設工業、熊谷組)に対して第36次となるゼネコン要請行動を展開し、全国セメント生コン部会からは、関西支部の藤川、東京から斉藤の2名が参加し、生コン部会要請項目(①生コンの品質確保

②原材料の高騰など特段の事情が発生した場合の契約の変更ができる契約形態③残コン・戻りコン

の軽減④誘導員の確保、

洗い水の現場処理)ならびに現場実態調査に基づく部会独自資料をもとにゼネコン各社の理解を求めました。

生コンの品質確保については、各社各様に品質管理体制が確立されていることや、価格に関する契約の変更は、すべてのゼネコンにおいて協議可能であることが示されています。

残コン・戻りコンの軽減・現場責任による処理については、全国統計で年間出荷量の2パーセントに相当する160万³mもの



関西支部・藤川書記長要請行動に参加

などがだされました。また東京地区生コン協組ではゼネコン別の残コン・戻りコン数量のデータをゼネコンに開示し、軽減にむけた取り組みを強化していることが報告されました。

現場での安全確保をはかるための専門の誘導員の配置について、首都圏では販売店が兼務しながら車両バック時に誘導しているのが現状で無人となる

ことがあること、ミキサ車の洗い水の処理については首都圏全ての現場が箱洗い持ち帰りとなっていることから、現場実態調査をもとに問題点を示し関西同様に専門の誘導員を配置し、安全対策を強化されること、洗いは現場責任で処理されるよう改善を求めました。

無駄な生コンが発生している実態のもと、廃棄物の軽減をはかるための措置を講じるよう求め、軽減を図りたいとしつつも、適正数量を把握できる現場責任者の育成がゼネコン側の共通した課題となっており、軽減にむけたとりくみ

組織拡大・春闘第1次集中行動ゾーン

大阪府本部は、春闘期間の第1次集中ゾーンを3月4日・5日（金・土）に設定し、組織拡大宣伝行動として取り組みました。3月4日は、関西支部・竹之内さんと荻田書記長が行動に参加。午前中は、天王寺東口駅前でビラ入りティッシュを配布。コロナ禍であったにもかかわらず、20分程度で150個受け取ってくれました。午後は、南海本線・堺東駅に移動し、ビラ入りティッシュの配布と関西支部・竹之内さんが労働組合加入を訴えました。竹之内さんは「私たちは、今年の春闘で大幅な賃上げを会社に要求し交渉に望んでいます。会社はコロナ不況を理由に新卒には消極的です。しかし、労働者の実

品が値上がりしていきま
す。これでは、まともな
暮らしが維持出来なくな
る。我々労働者も毎月の
支払い金額が決まってお
り、最低限のお金が必要



です。こうした状況を変えていくには、多くの労働者が労働組合に結集し社会を変えていかなければなりません。」と訴えました。その後、JR弁天町駅前でビラ入りティッシュを50個配布しました。3月5日の組織拡大宣伝行動は、コロナ禍のもと住之江区南港にある市営住宅と公団に「コロナ禍で解雇・雇止めで困っている方、給料が安くて休みが少ない、その上、事故を起こしたり、商品を壊すと会社から弁済金を請求される。労働組合の権利」などを内容にしたビラを5,000枚配布しました。参加者は、府本部役員3名（前村執行委員長、阪口副委員長、荻田書記長）と関西支部1名、大阪合同支部1名、此花支部1名。合計6名で約2時間かけて全戸ビラ配布を行いました。

組織拡大・春闘第2次集中行動ゾーン

4月8日（金）10時～終日行動で取り組みます。

3・10 大阪総行動

大阪府本部は春闘回答指定日の翌日行動として取り組んだ「3・10大阪総行動」に結集しました。早朝宣伝は淀屋橋駅前前で各組織から春闘の回答状況やロシアのウクライナへの軍事侵略に反対、コロナ禍で医療が逼迫し、助けられない大阪の状況。全国の死者数は大阪府が一番多いのは、維新政治が保険所と医療施設を削減したことが原因で



あり、人災である。など訴えました。早朝宣伝で建交労から荻田書記長は「22春闘は、コロナ不況から経済を活性化させる大幅賃上げが必要。公的部門における分配機能の強化と謳った賃上げは保育職と介護職は収入を3%程度（月額9,000円）看護職は収入を1%程度（月額4,000円）引き上げると打ち



出した。しかし、これではあまりにもショボいなど怒りの声が上がっている。しかも、エッセンシャルワーカーの業種である運輸業は、賃上げ対象外の業種である。」と訴えました。その後、建交労大阪府本部は、独自行動としてJR西日本本社前へ移動し、抗議宣伝に全体で31名が参加して取り組みました。西日本本社前では、来賓あいさつに駆けつけていただいた大阪労連・菅議長、建交労

近畿地協・川口議長が「大企業であるJR西日本は、労働者の実質賃金が20年間上がっていないことに加え、食料品などが値上がりしている。内部留保の一部を切り崩して、労働者の賃金を引き上げる！社会的責任を果たすのが大企業である。その先頭に立つて大幅な有額回答するべきである。」と訴えました。また、大阪府本部・前村執



行委員長は「JR西日本は回答指定日であるにもかかわらず、回答すらしない。」と怒りの抗議をしました。午後からは、中央区本町にある国際ビル前く大阪市役所前にある女神像前でデモ行進し、女神像前で決起集会を行いました。決起集会の全体参加者は300名。決起集会後は、女神像前から西梅田公園までデモ行進しました。

JR西日本本社前

各職場の春闘要求の交渉が始まる！

いよいよ、2022年春闘交渉が始まりました。大阪府本部は「コロナ不況から経済を活性化させる大幅賃上げを勝ち取るう！」をスローガンに交渉をすすめています。

要求提出状況は、全体65職場中25職場、回答職場数16職場妥結平均額は昨年実績2,322円から656円と大きく下がっています。この要因は、コロナによる経営悪化にくわえて、燃料の高騰が大きな原因と考えられます。しかし、2022年度に入り、食料品の値上がりなどで労働者の実質賃金は下がる一方です。大企業は内部留保もあり、賃上げ出来る体力もありませんが、中小企業は賃上げ出来るだけの体力がないのも事実です。大阪府本部傘下の各職場はゼロ回答のところもあり、厳しい交渉が続いています。しかし、粘り強い交渉を続け有額回答と大幅な賃上げ獲得をめざし奮闘しています。

建交労大阪府本部2022年春闘賃上げ回答状況

Table with columns: 職場名, 業種, 業交, 賃上げ要求額 (提出日, 円), 妥結 (回答日, 円), 昨年実績額, 前年比. Includes sub-sections for 南大阪ブロック, 中央東ブロック, 中央西ブロック, 北大阪ブロック.

Table with columns: 職場名, 業種, 業交, 賃上げ要求額 (提出日, 円), 妥結 (回答日, 円), 昨年実績額, 前年比. Lists various unions and their wage negotiation results.

Summary table for 2022年春闘賃上げ. Columns: 全体支部分会数, 対象職場, 対象外・中央集計, 回答職場数, 要求提出職場, 対象取組率, 回答額平均, 回答職場率, 要求提出率, 有額回答職場, 妥結職場数, 妥結率, 要求額平均(円), 前年平均実績額(円), 妥結平均額(円), 妥結平均前年比.